

# 平成 30 年度第 1 回羽曳野市こども夢プラン推進委員会

日時：平成 30 年 11 月 9 日（金）午後 2 時

場所：市役所別館 2 階研修室

## 1. 開会

## 2. 委嘱状交付：渡邊こども未来室長

## 3. 市長あいさつ（渡邊こども未来室長）

## 4. 正副委員長の選出・正副委員長あいさつ

委員了解のもと、事務局案に基づき、委員長には戸田委員を、副委員長には田辺委員が就任

## 5. 羽曳野市こども夢プラン推進委員会について

## 6. 子ども子育て支援法について

## 7. 子育て支援施策の現状について

○事務局より資料に基づいて説明

○質疑

### （1）待機児童の計算の手順について

⇒国で定められている基準に則って算出しており、4月と10月の年2回計上している。

4月は市で設定している第1次募集の申し込みで応募されたなかから、保育の必要性があると判断された方で算出している。

### （2）幼稚園・保育園に通っている子どもの年齢別の人数の把握について

⇒年齢別の状況を次回示す。

### （3）無償化の影響を把握するニーズ調査の質問について

⇒入れることになっている。

### （4）無償化への対応について

（委員）無償化になったら4月からどのように受け入れをすればいいかわからない。

無償化といっても0～2歳児と3歳児以上で状況は異なるし、給食費についても国でははっきりしていない。

（委員）保育料無償化は国が主導するもので、市独自にはできないことはないか。

⇒国主導で行うもので、自治体としての自由度は少ない。

### （5）人口の転出入について

（委員）羽曳野市として子育て世代のお母さん方やご家族に、市内に来ていただくための施策は無いか。人口転出入のデータを次回示してほしい。

## 8. 就学前教育・保育のあり方に関する基本方針（案）について

○資料に基づき説明

○質疑

### （1）駒ヶ谷幼稚園の存在意義

⇒駒ヶ谷地区については、羽曳野市の中での地域的な位置関係が大きな理由として継続している。

(2) 各幼稚園の子どもの人数について

(委員) 幼稚園の先生方にお聞きするが、7～8人の人数の中で教育・保育することは良いことだと思うか。

⇒先生たちも工夫しているところで、3園交流や園バスを使って各園に出かけて行って、少しでも多くのお友達と、かけっこ競争や運動会をしている。

(委員) 子どもの数が何名以下だったら休園にするということも決めた方が、羽曳野市全体の幼児教育にプラスになっていくのではないか。

⇒(委員) 向野保育園と恵我之荘、丹比についてだが、現在240名いるところに、幼稚園の4、5歳が入ってくるとなると、250～300人近くなるのではないか。細かいケアができなくなって、リスクが大きくなるのではないか。

(3) 公立幼稚園について

(委員) これまで14校区でひとつずつ公立幼稚園があったというのは、大阪府でも他にあまり無く、市が誇れる幼稚園の形態だったと思う。その体制が消えてしまうのはもったいないが、仕方がない。しかし、きちんと今後の変化に関する情報を伝えていただきたい。

(委員) さまざまな保護者の思いとか、パブリックコメントとかで市民意見を聞くことになるが、パブリックコメントへの声掛けが大切になる。

(委員) これは段階を追って、認定こども園になっていくということによいか。

⇒こども園ではなく、3歳児保育ができる幼稚園としていく予定。

(委員) 今後、保育施設の整備をしていく上では、長期的な視点で考えると同時に、コンパクトシティを目指して集約型で進めるか、防災・減災を考えて分散させるかは、今後、いろいろな自治体で課題になるのではないか。情報収集と議論が必要。

## 9. 子ども・子育て支援事業計画に伴うニーズ調査について

○資料に基づき説明

### ○質疑

(1) インターネットで回答するとかはできないか

⇒今回は紙ベースでの実施を考えている。5年前とは電子化が進むなど、状況が変わってきていると認識している。

(2) 回収率向上のための対策はどうか

⇒お礼状や再依頼状を配布する予定になっている。

(3) アンケート実施期間はどうか

⇒1ヵ月弱を想定している。

## 10. 今後のスケジュールについて

次回の委員会は、平成30年12月14日(金)14:30～、市役所A棟中東会議室にて開催を予定している。

## 11. 閉会